



4月29日(金)祝

日本グランプリシリーズ 広島大会

第56回

織田幹雄記念国際陸上競技大会

広島県・広島広域公園陸上競技場(エディオンスタジアム広島)

3000mSC	石澤 ゆかり選手	9分54秒06	2位/10名
5000m	バイレ シンシア選手	16分15秒78	22位/59名

5月4日(水)祝

日本グランプリシリーズ 延岡大会

第33回

ゴールデンゲームズ in のべおか

宮崎県・延岡市西階陸上競技場

5000mA組

バイレ シンシア選手 15分40秒95 8位/19名



バイレ シンシア選手
5000m出場



5月8日(日)

仙台国際ハーフマラソン大会

仙台国際ハーフマラソン2022 チャレンジレース

宮城県・仙台市陸上競技場(弘進ゴム アスリートパーク仙台)

池田 千晴選手	1時間13分08秒	5位
田村 紀薫選手	1時間14分25秒	7位

第56回 織田幹雄記念国際陸上競技大会

4/29(金)、日本グランプリシリーズ(※)のひとつである織田記念国際陸上大会が開催され、当部からは3000mSCと5000mにそれぞれ1名ずつ出場しました。3000mSCに出場した石澤ゆかり選手は、2018年の日本選手権で優勝し、日本代表としてもアジア大会で2度入賞(2018年8位、2019年6位)するなどSCレースで実績のある選手です。

4/24に出場した兵庫リレーカーニバルの2000mSCから連戦となり、レース中、足に違和感がでるアクシデントもありましたが、ラストで追い上げを見せ、優勝まであとわずかの差で2位となりました。

5000mに出場したシンシア選手は体調不良から本来の力を発揮することができず悔しい結果となりましたが、次戦のゴールデンゲームズ大会での雪辱を誓いました。

※日本グランプリシリーズ：

年間を通してポイントを争うトラック&フィールドの大会の総称。

種目により、今夏のオレゴン選手権、秋のアジア大会の代表選考競技会にもなっている。



3000mSC
9分54秒06 **2**位/10名
石澤 ゆかり 選手の
コメント

今シーズンの一つの目標としていた今回のレースは、難しい気象条件の中で思うように力を出し切れず、先週に続き、また、優勝まであと一歩となる悔しい結果となりました。

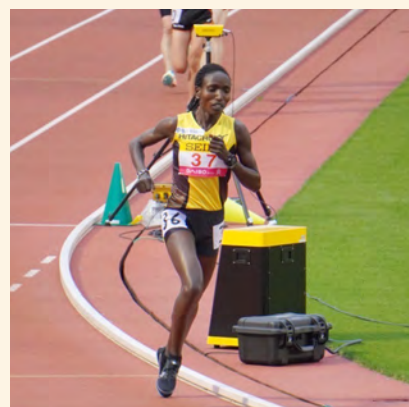
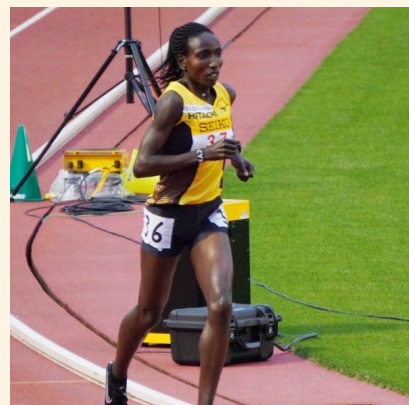
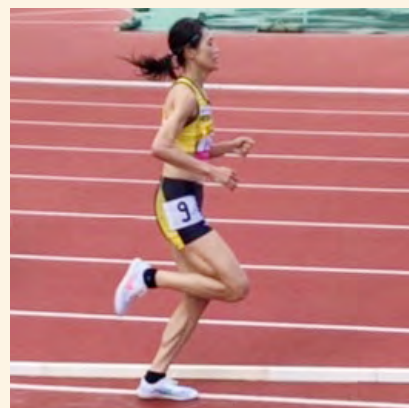
なかなか最後で勝ち切れないもどかしさがありますが、これまでのシーズンの中では一番安定した走りが出ていたので、次こそ優勝に繋がられるように頑張ります！応援ありがとうございました。



5000m
16分15秒78 **22**位/59名
バイレ シンシア 選手の
コメント

自分らしい積極的なレースができなくて、とても悔しいです。

次は5/4のゴールデンゲームズ大会に出場するので、取り戻せるように頑張ります！



5月4日(水)祝

第33回 ゴールデンゲームズ in のべおか



5/4(水)、こちらも日本グランプリシリーズとなるゴールデンゲームズinのべおかが開催され、5000mにシンシア選手が出場しました。本調子ではありませんでしたが、前レースの織田記念大会からは少し状態を戻せた中でのレースとなり、8位でのゴールとなりました。



5000mA組

15分40秒95 **8**位/19名

バイレ シンシア 選手の
コメント

先頭から大きく離されて、とても悔しいです。
優勝争いができるように頑張っていきます！

5月8日(日)

仙台国際ハーフマラソン大会



5/8(日)、仙台市陸上競技場を発着とするコースで仙台国際ハーフマラソン大会が開催され、当部からは2名の選手が出場しました。池田選手は3月に出場した名古屋ウィメンズマラソンから約2か月ぶり。

田村選手は長く苦しんだ故障から復帰して約1年10か月ぶりのレースとなりました。





1時間13分08秒 **5**位 池田 千晴選手の コメント

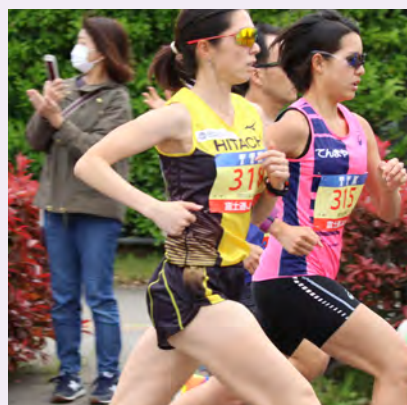
今回のレースは、3月に出場した名古屋マラソンから次の目標へ再出発をするレースとして位置づけ、現段階の調子でどこまで粘れるかを目的として走りました。

前半は、思い切って先頭集団に挑戦しましたが、中盤からは、なかなか上手く走りをのばすことが出来ずに苦戦したものの、現段階の課題を見つけることができました。

8月の北海道マラソンでMGC(※)の出場権を獲得することが、今シーズンの最大目標なので、それまでに日々の積み重ねを大切に準備を進めていきます。今年度は、これまでよりも更に結果にこだわり、自分自身を突き詰めて走っていきますので、応援をよろしくお願いします！

※MGC：

マラソングランドチャンピオンシップ。日本陸上競技連盟（日本陸連）が主催するオリンピックのマラソン日本代表の選考競技会として開催されるマラソン大会。2023年秋にパリオリンピック(2024年)のマラソン日本代表選考会としての開催が予定。



1時間14分25秒 **7**位 田村 紀薫選手の コメント

約2年間続いた怪我からの復帰レースとなりました。

ブランクのため、思うように練習は積みませんでした。復帰のための体づくりが目的だったこと、そして目標タイムを上回ることができたことで、今後のトラックレースや駅伝への足がかりにすることができました。

不甲斐なさや無力さを感じる日々で、競技へのモチベーションも保てない状態でしたが、周りの方々からの絶え間ないお力添えがあり、こうしてまた再び走り始めることができ、喜びと同時に皆さまへの感謝しかありません。

少しずつではありますが、完全復帰へ向け取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



L'AURUS

日立女子陸上競技部事務局